

平成 19年度アウトソーシングアクションプラン 個別業務シート

様式 2

郵局名：土木部 】

1 アウトソーシングする業務	
(1) 業務名	県有施設定期点検支援業務
(2) 業務の概要 (100文字以内)	県下の県有施設の定期点検 調査業務 (県警察・公営住宅・職員住宅除く) 建築主体 (3年に1回) 建築設備 (毎年)
(3) 予算化の時期 (予定)	12月補正
(4) 発注時期 (予定)	平成 20年 1月頃
(5) 委託期間 (予定)	平成 20年 1月末～平成 20年 3月末
(6) 担当課室・担当者	建築課 担当者 永野精一
(7) 想定する委託先	民間企業 (建築設計事務所・コンサルタント)
(8) 想定する契約方法	指名競争入札
(9) 想定するアウトソーシング人役	2人役
2 アウトソーシングする理由 (何のためにどんな役割をアウトソーシングするのか)	
<p>民間の建物は、従前から、定期点検が義務化され、その対象の施設管理者が建築設計事務所・コンサルタントに委託し実施している。県有施設の点検についても、アウトソーシングによりそのノウハウを生かし、併せて、幅広い事業者の参加と受託事業者の掘り起こしを目指す。また、この委託によって、県直営で行っている時間が大幅に縮減され、職員本来の業務に専念出来るメリットが生まれる。</p>	
3 アウトソーシングの効果として重視しているもの	
(1) 県民サービスの質の向上	<p>県職員が直接施設の点検を行うのではなく、従来から、民間施設の点検を行って来た経験を生かし、委託業務にその能力を発揮してもらうこと、また、同時に点検業務への参加による就業の機会を増やす。</p>
(2) 民間との協働による人材育成、雇用の創出	
(3) 県民の参画、地域の活性化	
(4) その他	